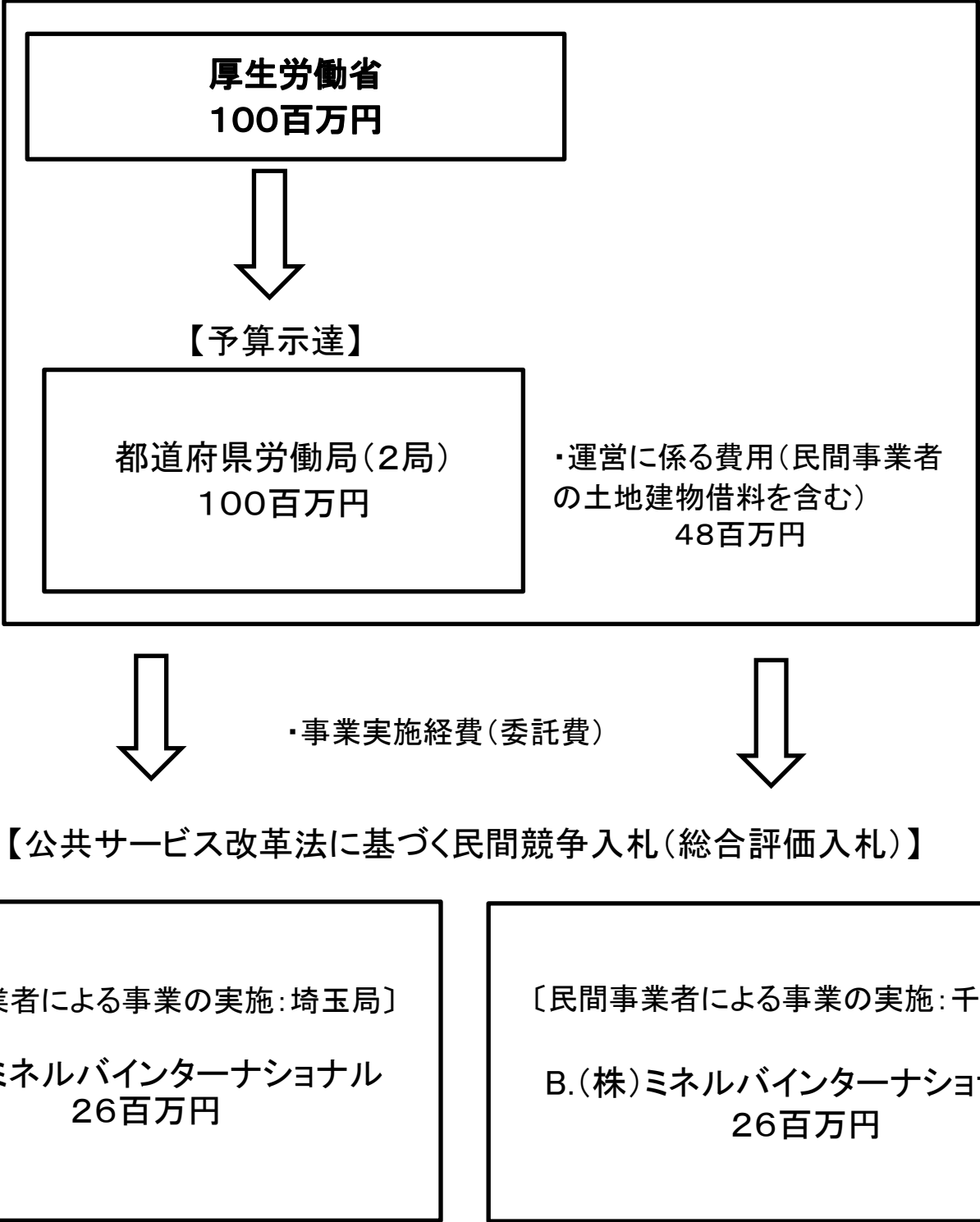


平成 2 5 年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		キャリア交流事業費		担当部局庁		職業安定局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度		平成15年度～平成25年度		担当課室		首席職業指導官室		首席職業指導官 野村 栄一		
会計区分		労働保険特別会計雇用勘定		政策・施策名		Ⅳ-1-1：公共職業安定機関等における需給調整機能の強化及び労働者派遣事業等の適正な運営を確保すること				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等		公共サービス改革基本方針(平成25年6月14日改定(閣議決定))				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		中高年ホワイトカラー求職者等を対象として、登録制により求職活動に有用な知識等の付与、経験交流、キャリアコンサルティング等を集中的に実施し、これらの者の再就職の促進を図る。								
事業概要 （5行程度以内。別添可）		キャリア交流プラザを設置し、中高年ホワイトカラー求職者等を対象に、集中的に(支援期間4ヶ月)セミナー・ガイダンス、経験交流、キャリア・コンサルティング等を実施し、再就職の促進を図る。(20、21年度は、全国15箇所を実施(うち8箇所で民間事業者による事業の実施(市場化テスト))。22～24年度については、全国2箇所で民間事業者により事業を実施(市場化テスト)していたが、予算効率化の観点から24年度末をもって事業を廃止した。								
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		予算の状況	当初予算	736	200	121	6			
			補正予算							
			繰越し等							
			計	736	200	121	6			
		執行額		419	106	100				
		執行率（％）		56.9	53.0	82.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
		キャリア交流プラザの支援対象者の内、就職した者(雇用保険被保険者資格を取得した者)及び自営を開始した者の割合 55%以上(事業実績となる就職は、単年度ごとに支援開始後7ヶ月時点の実績を踏まえて評価することとしているため、24年度の就職率は現時点では算出できない。)			成果実績	％	53.2	59.1	現時点では算出不可	
					達成度	％	96.7	107.5	現時点では算出不可	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
		支援開始者数			活動実績 (当初見込み)	人	235 (400)	279 (440)	160 (300)	
単位当たりコスト		640,782(円／就職件数)			算出根拠	事業運営経費／就職件数(平成23年度) ＝105,729千円／165件				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	庁費		0							
	土地建物借料		0							
	職業講習等委託費		6							
計		6								

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 要 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	再就職に当たっての知識や準備が不足している中高年ホワイトカラー求職者に対する就職支援は重要である。また、本事業では、民間等では十分な支援が期待し難い求職者層を対象としており、国費を投入して支援を実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			－		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	成果実績は雇用保険二事業における指標となっており、優先度の高い事業と位置づけられる。	
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	受託者については、一般競争入札（総合評価落札方式）により選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	事業の受益者である支援対象者に対して事業利用料等の負担は求めておらず、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			×	雇用失業情勢の見通しや前年度実績をもとに、支援対象者の内、就職した者（雇用保険被保険者資格を取得した者）及び自営を開始した者の割合について目標を設定するとともに、効率的な事業執行に努めていたが、当初見込んだほど事業が活用されなかったため、支援開始者数が伸びず、単位当たりコストが高額となっており、妥当なコスト水準とは言い難い。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	予算の大半は、受託者に支払う委託費であり、事業実施に不可欠なものである。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○	本事業においては、就職率に係る目標以上の実績をあげた場合に、受託者からの請求に基づいて国が就職促進費を支払うこととしているが、24年度の就職率が確定していないため、現時点で就職促進費を支払っていないためである。	
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			×	周知不足等により、当初見込んだほどの活動実績に至らなかった。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			×	活動実績からみて、十分な活用が図られているとはいえず、予算効率化の観点から24年度末をもって事業を廃止した。	
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	上記にも記載のとおり、予算効率化の観点から24年度末をもって事業を廃止した。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
－		－				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
－		－				
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	22-678	平成23年	23-615	平成24年	24-547

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.(株)ミネルバイインターナショナル(埼玉)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	キャリア交流プラザ事業の運営等	26			
計		26	計		0
B.(株)ミネルバイインターナショナル(千葉)			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	キャリア交流プラザ事業の運営等	26			
計		26	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ミネルバイインターナショナル(埼玉)	キャリア交流プラザ事業の運営	26	1	75.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ミネルバイインターナショナル(千葉)	キャリア交流プラザ事業の運営	26	1	74.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					